

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 高納 伸宏
(コード番号 6217)
問合せ先責任者 取締役管理部門統括 北野 浩司
(TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和5年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和5年11月期通期連結業績予想数値の修正(令和4年12月1日～令和5年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,000	0	0	0	0.00
今回修正予想(B)	41,000	△1,000	△1,100	△1,150	△180.01
増減額(B-A)	△1,000	△1,000	△1,100	△1,150	
増減率(%)	△2.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (令和4年11月期)	31,189	△2,497	△2,583	△2,567	△401.87

修正の理由

繊維機械事業では、市況は回復傾向となっており、中心市場であります中国・インド市場向けに新型エアジェットルーム・ウォータージェットルーム、サイジングマシンの受注が堅調に推移しております。また販売価格の改定も進めており、原価低減のプロジェクトと合わせ、採算性の改善を図っております。一方、工作機械関連事業においては、現在国内、海外どちらの市場も低迷しているものの、採算性の向上により、下期も引き続き黒字を確保できる見込みです。またEV関連や新しい産業分野に対応した製品を開発し、市場の回復に備えていきます。

通期の業績予想につきましては、下半期では黒字転換を見込むものの、第2四半期までの業績が計画を下回ったこと、原材料価格や部品の調達が未だ不安定なことを踏まえ、売上高は41,000百万円、営業損失1,000百万円、経常損失1,100百万円、親会社株主に帰属する当期純損失1,150百万円に下方修正いたします。(詳細は、本日公表いたしました「令和5年11月期第2四半期決算短信【日本基準】(連結)」をご参照下さい。)

下半期におきましては、更なる受注の積み上げ、生産・売上の拡大、コストダウン活動の推進、販売価格の見直し等により、黒字転換を早急に進め、通期での損失の圧縮を図ってまいります。

以 上